

JIS

鋼製風雨密一枚戸

JIS F 2318:1999

(2006 確認)

平成 11 年 3 月 24 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、運輸大臣が改正した日本工業規格である。これによって、JIS F 2318 : 1984は改正され、この規格に置き換えられるとともに、JIS F 2316 : 1987は、この規格に統合される。

JIS F 2318には、次に示す附属書がある。

附属書1(規定) 船用鋼製風雨密戸

附属書2(規定) 船用鋼製風雨密戸附属金物

附属書3(参考) 隔壁開口

主 務 大 臣：運輸大臣 制定：昭和 31.12.19 改正：平成 11.3.24

官 報 公 示：平成 11.3.24

原案作成協力者：財団法人 日本船舶標準協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 船舶部会（部会長 小山 初見）

この規格についての意見又は質問は、運輸省海上技術安全局技術課（☎100-8989 東京都千代田区霞が関 2 丁目 1-3）又は工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室（☎100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

鋼製風雨密一枚戸

F 2318 : 1999

Weathertight single-leaf steel doors

序文 この規格の本体は、1998年に第2版として発行されたISO 6042, Ships and marine technology—Weathertight single-leaf steel doorsを元に作成した日本工業規格であり、技術的内容を変更することなく作成している。

附属書1及び**附属書2**には、従来、日本工業規格で規定していたJIS F 2318 : 1984及びJIS F 2316 : 1987の内容を一部改正して規定した。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、船上で使用する鋼製風雨密一枚戸の互換性を確保するために、その主要寸法、材料及び製品の品質について規定する。ここに規定していない寸法は、製造業者の任意とする。

これらの戸は、一般的に1966年の国際満載喫水線条約(LLC66)の要件に合致している。第1位置又は第2位置に使用できるか否かは、個々の場合に依拠して考慮する。必要があれば、戸の剛性を増す処置をとる(表1参照)。

附属書3は、隔壁の開口寸法を規定する。

備考1. この規格の利用者は、規格の要求事項を守ると同時に、それぞれの船舶が適用を受けるべき法令の要求事項、及び船級協会規則を含んだ規則類を満足していることを確認することが必要である。

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 6042 : 1998 Ships and marine technology—Weathertight single-leaf steel doors

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

ISO 3796 Shipbuilding—Clear openings through frames for external single leaf doors

3. 戸、戸枠及び附属金物

3.1 開き方向 左開き及び右開きは、図1による。

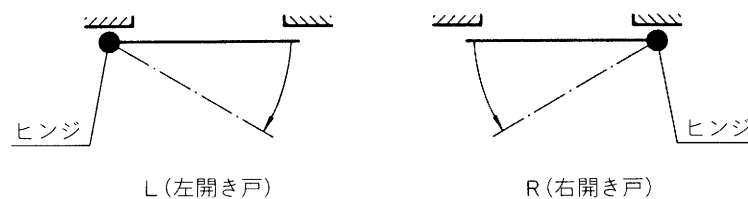


図1 開き方向

この規格に従った戸は、隔壁に取付け前の状態で、どちらの開き方向(右開き又は左開き)にも使用可能である。

3.2 戸の種類 戸の種類は、形鋼の戸枠を使うAB形又は平鋼の戸枠を使うFB形、若しくはFBR形とする。呼びサイズ(高さ L ×幅 B)は、ISO 3796によるものとし、表2に示す。